

BUSINESS
REPORT
2022

第49期 中間報告書

第2四半期連結累計期間
(2022年1月1日～2022年6月30日)



クリエートメディック株式会社

証券コード 5187

からだにやさしい
未来の医療を築く





代表取締役社長 佐藤正浩

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、罹患された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また、医療従事者の方々をはじめ、感染拡大防止にご尽力されている多くの皆様に深く感謝を申し上げます。

さて、当社第49期の中間報告書をお手元にお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

■国内の経済環境と医療機器業界

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されましたが7月以降の感染再拡大のため、依然収束が見通せない状況にあります。

また、ロシアによるウクライナ侵攻が長期化の様相を呈し、原材料価格の高騰に加えて急激な円安や物価上昇の圧力が強まっており、先行き不透明な状況が続いております。

医療機器業界におきましても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により外来患者数が減少するとともに、手術や検査の抑制もあり、事業環境は厳しさを増しております。

■当第2四半期連結累計期間の営業の概況と業績

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き医療機関の訪問規制など営業活動が制限されるなか、WEBによる営業活動やオンラインセミナー等を実施いたしました。

開発面では、中期経営計画の重点戦略分野である泌尿器系・消化器系の製品ラインナップ充実に向けた新製品開発に注力するとともに、国内外の薬事規制や欧州の医療機器規則の強化に対応したライセンスの維持、新規認証取得にも対応してまいりました。

生産面につきましては、中国上海市のロックダウンに伴い原材料および製品が入手困難になったことにより一部の製品の供給に影響が出ております。さらに、急激な円安による原材料調達コストの高騰や物流コスト上昇により、業績に影響を受けました。

以上により、売上高につきましては、自社販売および海外販売の好調により、大幅な増加となりました。

利益面では、売上高の増加はあったものの、原材料コストの高騰により売上原価率が上昇し、さらに、物流コストの増加や情報システム投資に伴う減価償却費等も増加したため、前年同期と比較し減少となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,029百万円（前年同期は5,479百万円）、営業利益333百万円（前年同期は487百万円）、経常利益523百万円（前年同期は540百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益311百万円（前年同期は408百万円）となりました。

次に売上上の概況を販売形態別にご報告いたします。

自社販売は、医療機関の感染対策により訪問規制など営業活動の制約を受けましたが、泌尿器系製品のフォーリートレイキットやテューマースtent、クリニースキャン等が好調に推移したことにより、売上高3,414百万円（前年同期は3,205百万円）となりました。

海外販売は、中国販売の拡大および人民元の為替レートが円安となったことにより大幅に増加し、欧州向けの輸出販売も引き続き好調であることから、売上高は1,966百万円（前年同期は1,654百万円）となりました。

OEM販売は、昨年に売上が減少した血管系製品が生産を回復させた影響などにより、売上高648百万円（前年同期は619百万円）となりました。

■2022年12月期の見通し

上半期につきましては、売上高は計画を上回ったものの利益は計画を下回る結果となりました。

下半期につきましては、販売面では新型コロナウイルス感染症が先行き不透明な状況であり、コスト面も材料費の高騰など業績に影響を及ぼす可能性がありますので、通期の業績予想は当初の予想値を変更せず、据え置きとさせていただきます。

今後の業績向上に全社一丸となり邁進いたす決意でありますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■配当方針

当社グループは、利益還元を経営の重要施策と位置付け、今後の収益力向上のために内部留保による経営基盤の強化を図りつつ、安定的かつ継続的な配当を実施してまいります。

当期の中間配当金につきましては、1株につき17円とさせていただきます。また、年間配当金につきましては、当中間配当金17円を含め、37円を予定しております。

業績の推移

区 分		2020年 (第47期)	2021年 (第48期)	2022年 (第49期)
売 上 高(百万円)	第2四半期	5,082	5,479	6,029
	通 期	10,830	11,698	—
営 業 利 益(百万円)	第2四半期	400	487	333
	通 期	984	866	—
経 常 利 益(百万円)	第2四半期	378	540	523
	通 期	952	1,009	—
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	第2四半期	248	408	311
	通 期	659	660	—
総 資 産(百万円)	第2四半期	17,114	17,926	18,979
	通 期	17,097	18,075	—
純 資 産(百万円)	第2四半期	13,116	13,822	14,948
	通 期	13,227	14,220	—
フリーキャッシュ・フロー(百万円)	第2四半期	466	514	916
	通 期	544	663	—
1株当たり当期純利益(円)	第2四半期	26.64	44.91	34.21
	通 期	71.19	72.61	—
1株当たり純資産額(円)	第2四半期	1,408.06	1,519.85	1,642.80
	通 期	1,454.41	1,563.55	—
1株当たり配当金(円)	第2四半期	17	17	17
	通 期	37	37	—

- (注) 1. フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローおよび投資活動によるキャッシュ・フローの合計額を表示しております。
2. 2022年(第49期)の通期につきましては、現在期中により「—」で表示しております。

四半期連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	第49期第2四半期 (2022年6月30日現在)	第48期第2四半期 (2021年6月30日現在)	第48期 (2021年12月31日現在)
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
流動資産	12,242	11,373	11,575
現金及び預金	4,978	4,460	4,359
受取手形及び売掛金	2,002	2,045	2,309
電子記録債権	1,269	1,119	1,246
商品及び製品	1,831	1,866	1,723
仕掛品	870	776	703
原材料及び貯蔵品	895	741	790
その他	403	363	445
貸倒引当金	△8	△1	△4
固定資産	6,737	6,553	6,500
有形固定資産	5,155	5,022	5,080
建物及び構築物	2,554	2,528	2,505
機械装置及び運搬具	402	384	381
土地	1,643	1,658	1,658
建設仮勘定	115	72	133
その他	439	378	401
無形固定資産	701	675	686
借地権	177	151	155
その他	523	523	530
投資その他の資産	880	854	733
投資有価証券	511	465	393
繰延税金資産	300	322	274
その他	68	67	65
資産合計	18,979	17,926	18,075

期 別 科 目	第49期第2四半期 (2022年6月30日現在)	第48期第2四半期 (2021年6月30日現在)	第48期 (2021年12月31日現在)
	金 額	金 額	金 額
(負債の部)			
流動負債	2,748	2,824	2,573
支払手形及び買掛金	499	543	450
電子記録債務	192	421	232
短期借入金	800	800	800
未払法人税等	101	131	118
賞与引当金	67	56	56
役員賞与引当金	8	9	18
その他	1,079	862	896
固定負債	1,283	1,278	1,282
退職給付に係る負債	1,207	1,198	1,202
資産除去債務	3	3	3
長期未払金	66	71	71
その他	5	5	4
負債合計	4,031	4,103	3,855
(純資産の部)			
株主資本	13,314	13,267	13,365
資本金	1,461	1,461	1,461
資本剰余金	1,486	1,486	1,486
利益剰余金	10,876	10,833	10,931
自己株式	△509	△513	△513
その他の包括利益累計額	1,633	555	855
その他有価証券評価差額金	37	22	25
為替換算調整勘定	1,626	613	867
退職給付に係る調整累計額	△30	△81	△37
純資産合計	14,948	13,822	14,220
負債・純資産合計	18,979	17,926	18,075

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 6,657百万円

■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	第49期第2四半期 (2022年1月1日~ 2022年6月30日)	第48期第2四半期 (2021年1月1日~ 2021年6月30日)	第48期 (2021年1月1日~ 2021年12月31日)
		金額	金額	金額
売上高		6,029	5,479	11,698
売上原価		3,411	2,968	6,438
売上総利益		2,617	2,510	5,260
販売費及び一般管理費		2,284	2,023	4,393
営業利益		333	487	866
営業外収益		194	61	156
営業外費用		5	7	13
経常利益		523	540	1,009
特別利益		19	35	68
特別損失		-	-	112
税金等調整前四半期(当期)純利益		542	576	965
法人税、住民税及び事業税		183	206	318
法人税等還付税額		-	△42	△44
法人税等調整額		48	3	31
四半期(当期)純利益		311	408	660
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益		311	408	660

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たりの四半期純利益(期中平均発行済株式数による) 34円21銭

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	第49期第2四半期 (2022年1月1日~ 2022年6月30日)	第48期第2四半期 (2021年1月1日~ 2021年6月30日)	第48期 (2021年1月1日~ 2021年12月31日)
		金額	金額	金額
営業活動による キャッシュ・フロー		665	861	1,248
投資活動による キャッシュ・フロー		250	△346	△585
財務活動による キャッシュ・フロー		△193	△287	△442
現金及び現金同等物に 係る換算差額		211	72	109
現金及び現金同等物の 増減額		934	299	330
現金及び現金同等物の 期首残高		3,413	3,083	3,083
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高		4,348	3,383	3,413

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結株主資本等変動計算書

当第2四半期連結累計期間(2022年1月1日~2022年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,461	1,486	10,931	△513	13,365	25	867	△37	855	14,220
会計方針の変更による累積的影響額			△183		△183					△183
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,461	1,486	10,747	△513	13,181	25	867	△37	855	14,036
第2四半期連結累計期間中の変動額										
剰余金の配当			△181		△181					△181
親会社株主に帰属する四半期純利益			311		311					311
自己株式の取得				△0	△0					△0
自己株式の処分		0		4	4					4
株主資本以外の項目の第2四半期連結累計期間中の変動額(純額)						11	759	6	778	778
第2四半期連結累計期間中の変動額合計	-	0	129	4	133	11	759	6	778	912
当四半期末残高	1,461	1,486	10,876	△509	13,314	37	1,626	△30	1,633	14,948

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別四半期財務諸表（要旨）

■ 四半期貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	第49期第2四半期 (2022年6月30日現在)	第48期第2四半期 (2021年6月30日現在)	第48期 (2021年12月31日現在)
	金額	金額	金額	
(資産の部)				
流動資産		7,538	7,735	7,348
固定資産		6,279	6,218	6,174
有形固定資産		3,042	3,105	3,116
無形固定資産		496	506	510
投資その他の資産		2,739	2,607	2,546
資産合計		13,817	13,954	13,522
(負債の部)				
流動負債		2,441	2,486	2,230
固定負債		1,167	1,121	1,150
負債合計		3,609	3,607	3,381
(純資産の部)				
株主資本		10,171	10,323	10,116
資本金		1,461	1,461	1,461
資本剰余金		1,486	1,486	1,486
利益剰余金		7,732	7,889	7,682
自己株式		△509	△513	△513
評価・換算差額等		37	22	25
その他有価証券評価差額金		37	22	25
純資産合計		10,208	10,346	10,141
負債・純資産合計		13,817	13,954	13,522

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	第49期第2四半期 (2022年1月1日~ 2022年6月30日)	第48期第2四半期 (2021年1月1日~ 2021年6月30日)	第48期 (2021年1月1日~ 2021年12月31日)
		金額	金額	金額
売上高		4,823	4,440	9,456
売上原価		3,067	2,769	5,863
売上総利益		1,756	1,671	3,592
販売費及び一般管理費		1,851	1,720	3,602
営業利益		△95	△49	△10
営業外収益		572	543	537
営業外費用		4	4	9
経常利益		472	489	517
特別利益		4	-	-
特別損失		-	-	75
税引前四半期(当期)純利益		477	489	442
法人税、住民税及び事業税		58	103	121
法人税等調整額		2	△38	△50
四半期(当期)純利益		416	424	372

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期株主資本等変動計算書

当第2四半期累計期間（2022年1月1日～2022年6月30日）

（単位：百万円）

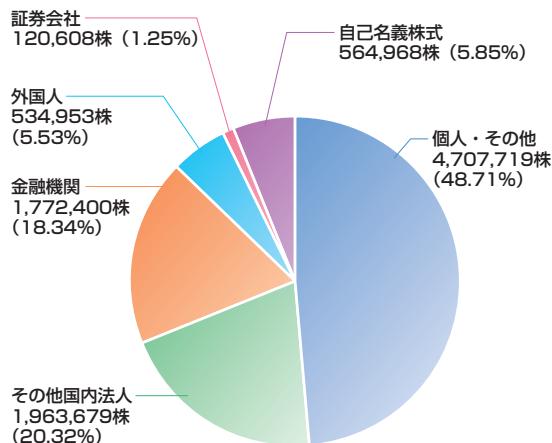
	株主資本										評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
当 期 首 残 高	1,461	1,486	-	1,486	150	4,900	2,632	7,682	△513	10,116	25	25	10,141
会計方針の変更による累積的影響額							△183	△183		△183			△183
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,461	1,486	-	1,486	150	4,900	2,448	7,498	△513	9,932	25	25	9,957
第2四半期累計期間中の変動額													
剰余金の配当							△181	△181		△181			△181
四半期純利益							416	416		416			416
自己株式の取得									△0	△0			△0
自己株式の処分			0	0					4	4			4
株主資本以外の項目の第2四半期累計期間中の変動額（純額）											11	11	11
第2四半期累計期間中の変動額合計	-	-	0	0	-	-	234	234	4	238	11	11	250
当 四 半 期 末 残 高	1,461	1,486	0	1,486	150	4,900	2,682	7,732	△509	10,171	37	37	10,208

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2022年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式の総数 9,664,327株
- 株主数 5,660名

株式分布状況



役員 (2022年9月7日現在)

代表取締役社長	佐藤正浩
代表取締役専務執行役員	谷口英彦
取締役会長	吉野周三
取締役常務執行役員	赤岡洋三
取締役執行役員	遠藤晋一
取締役執行役員	秋元克也
取締役常勤監査等委員	橋井敦
取締役監査等委員	原田彰 (社外取締役)
取締役監査等委員	磯貝和敏 (社外取締役)
取締役監査等委員	日暮良一 (社外取締役)

会社の概要 (2022年6月30日現在)

- 本社所在地 〒224-0037
横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
- 設立 1974年8月12日
- 資本金 1,461,735,390円
- 事業所 北海道工場、水戸事業所、研究開発センター、11営業拠点（札幌、仙台、さいたま、東京、多摩、千葉、神奈川、名古屋、大阪、広島、福岡）
- 連結子会社 大連クリエート医療製品有限公司
クリエート国際貿易（大連）有限公司
九州クリエートメディック株式会社
ベトナムクリエートメディック有限会社

製品紹介

クリエートメディックでは、安全性が高く、違和感や苦痛が少ない素材であるシリコンを用いた製品を幅広く取り扱っております。また、高度な技術を背景に医師や看護師など医療従事者とともに、医療現場の様々なニーズを取り込んだ製品開発をおこない、患者様のQOL（Quality of life）の向上を目指しております。

泌尿器系



留置導尿関連製品

全身麻酔による手術後など排尿が困難な場合に、尿道からカテーテルを挿入して膀胱内の尿を排出します。また、持続的な排尿が可能です。



腎瘻（じんろう）造設術関連製品

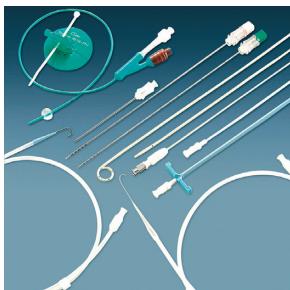
尿管の通過障害による腎後性腎不全などのときに、経皮的に腎臓にカテーテルを留置し排尿することを目的とします。



自己導尿関連製品

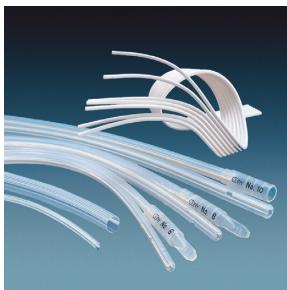
排尿障害などを起こした場合に、患者様が自らまたは介護の方が一定時間毎に尿道にカテーテルを挿入して排尿するためのカテーテルです。

外科系



PTCD関連製品

胆管や胆嚢にたまった胆汁を経皮的に排出するキットで、手技に必要な器具が滅菌済トレイに入っています。また、確実性の高い穿刺を可能とする超音波穿刺針を用いて、経皮的にカテーテルを留置します。



ドレーンチューブ

手術後の傷口などにたまった血液や尿などを、外に排出するためのドレーンチューブです。ドレーンから排泄される体液の色や状態をチェックすることで、術後の経過や異常を発見することができます。



腹腔鏡下内視鏡手術用製品

より低侵襲を追求した細径の鉗子で、開腹することなく腹腔鏡下で手術をおこなう際に使用します。

消化器系



イレウス関連製品

イレウス（腸閉塞）の患者様に、鼻または肛門からカテーテルを挿入して、腸内にたまった内容物を吸引・減圧するために使用します。また、挿入したカテーテルに造影剤を入れ、患部の造影をおこないます。



胃瘻（いろいろ）造設術関連製品

脳血管障害などで自発的に栄養を摂取できないときに、経皮的に胃にカテーテルを挿入して栄養を投与します。



栄養投与関連製品

開口障害や全身衰弱が著しく食物の摂取が不可能なときに、鼻から胃内や腸に挿入して栄養投与をおこなうものです。

麻酔・呼吸器系



麻酔関連製品

術後や末期がんの患者様などの「疼痛管理」に使用される携帯型ディスポーザブル注入ポンプです。注入量は長時間使用しても安定しており、術後の患者様の痛みを和らげる短期的な使用に威力を発揮します。



呼吸器関連製品

気道の確保が必要で気管挿管が困難な患者様に、気管とその上部の皮膚を切開して挿入する気管切開チューブです。

看護・検査系ほか



看護関連製品

あらゆる尿路ストマー装置や、尿失禁用カテーテルに接続することができ、大腿部・下腿部に固定することで、無理なく社会生活をおくることが可能です。



生検針

生体から細胞・組織を針を刺して採取したり、吸引して採取する針です。

株主メモ

- **事業年度** 毎年1月1日から12月31日まで
- **定時株主総会** 毎年3月下旬
- **定時株主総会の基準日
期末配当の基準日** 毎年12月31日
- **中間配当の基準日** 毎年6月30日
- **公告方法** 電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
- **株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関)** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- **郵便物送付先
(電話照会先)** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **特別口座について**
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



クリエートメディック株式会社

本 社

〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
TEL (045) 943-2611 URL <https://www.createmedic.co.jp>